

北海道剣淵高等学校 本校の概要

本校は町立1間口の総合学科高校で、本年度創立71年目を迎えました。「農業国際系列」と「生活福祉系列」、そして昨年度より「未来のしんろ系列」が始動し、現在3系列での教育活動を展開しています。

農業国際系列では、農業後継者の育成、安全・安心な農産物の生産や加工、流通に関わる人材の育成、農業教育を通して現代社会に必要な課題解決能力の育成に取り組んでいます。今年の12月には、環境省が主催する第10回グッドライフアワードに農業国際系列の食品加工班による「高校生が挑む地域の未利用資源を活用した持続可能な養鶏による農業実践」が環境社会イノベーション賞を受賞しました。

生活福祉系列は超高齢社会を迎えるこれからの日本に対応できる人材、介護の視点から福祉を支える介護福祉士の育成を目指しています。

未来のしんろ系列では普通教科を中心に高等教育機関への進学を見据えた学習とSDGsなど現代課題をテーマにした探究型の学習を展開しています。

また、本校では2年次と3年次で委託実習（インターンシップ）が行われます。農業国際系列の3年次では、資格取得講習（今年は3日間）、産業現場実習（5日間）を行い、2年次では剣淵町及び近隣市町村での農家委託実習（約5日間）を行います。

生活福祉系列では、3年次で福祉施設での実習（27日間）を行います。2年次では2回に分け22日間の施設実習を行います。特に生活福祉系列を選択すると、卒業時に介護福祉士国家試験受験資格が得られる高校です。（厚生労働省認可、道内では4校のみ。）昨年度の本校の介護福祉士国家試験合格率は78%でした（全国合格率は72%程度）。今年度も全員合格を目指し取り組んでいきます。

未来のしんろ系列では、2年次に職場体験などの地域産業実習（5日間）を行い、この実習をもとに自らの進路を検討し、翌年の学習に繋げます。

本校PTAの活動状況



▲学校祭にてPTA主催『輪投げ』など



▲PTA校内研修『普通救命講習』の様子

今年もこれまでに引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、縮小する形で多くのPTA行事を実現することができました。

～PTA関連行事～

- ・交通安全教室での交通安全宣言
- ・町への奉仕活動『花植え』
- ・学校祭における『PTA企画（輪投げや重量当てゲーム）』
- ・PTA校内研修『普通救命講習』、『給食試食会』
- ・PTA名寄支部連合会主催『高校生と語るつどい』

これらを通じて保護者同士や生徒たちと関わることができました。

まだまだ社会的に苦境の中ではありますが、PTAとして今後も生徒と保護者、学校と地域を繋いでいく活動を進めていきたいと考えています。